

# 山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL.0820-79-1133  
E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

第38号  
平成28年3月

東日本大震災から、5年が経過しました。  
災害に備え、日頃の防災対策を今一度確認してください。

## 家族で防災会議

事前に家族一人一人に起こりうる状況を考えて話し合い、家族内でルールを作っておきましょう。

☆地震が日中に発生した場合、家族が離ればなれの状態になる事が考えられます。

### 想定される事態

- ・子供は学校、遊び先
- ・大人は職場など
- ・連絡をとることが困難になる
- ・帰宅途中で被災して帰宅困難になる



離ればなれになった時にまず、連絡をとる事が重要になります。しかし、携帯電話など通信がマヒして連絡が取れない事態が想定されます。

また、携帯電話をもたない子供や老人の事も考えなくてはなりません。

もし子供達が大人がまわりにいない場所で遊んでいた時に被災したらどうしますか？  
もしもの時を考えて家族内でルールを決めておきましょう。

☆対策は一つではなく、第2・第3候補とあらゆる状況に対応できるよう心がけましょう。

### 話し合うテーマ

- ・連絡手段は？ どこに？ どのように？ どこに帰るの？



状 況	決めておくこと
家族が離ればなれの時	連絡方法。合流場所(避難場所)と合流方法
家族が一緒の時	避難場所と道順。役割分担(家族の安否確認、非常持出品の準備、避難経路の確保、近所の救助活動)
共通のテーマ	乳幼児、高齢者、病人、妊婦、ペットのいる家庭での避難について

### 災害時のペットの預け先を見つけておく

遠方に預かってくれる方を事前に見つけておく事をおすすめします。

避難所生活はペットにとって良い環境とは言えません。ペットを飼っている親類や親友などと、被害のなかった方がペットを預かるというように、お互いに助け合う形で約束しておくと思えます。また、預け先の人に迷惑をかけないよう、日頃のしつけをしっかりとし、健康管理の仕方など飼育メモの準備もおきましょう。

# 周防大島町防災講演会

『近年の大規模災害に学ぶ地域防災のあい方』 2016. 2. 11



講師 群馬大学大学院理工学府教授  
広域首都圏防災研究センター長 片田敏孝 氏



多数の方々にご来場いただきました。  
ありがとうございました。



## 来館者紹介

1月&2月 見学団体  
福山市東防火協会  
竹原市防火協会  
周防大島町 安下庄婦人会

の方々が来館されました。



町内及び近隣住民の皆さん、近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。  
平常時(9時~17時)であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます。

また、町内の出前講座もしていますので、各自治会の方々、興味のある方  
お気軽にお問い合わせください。

山口県大島防災センター Tel(0820)79-1133 Fax(0820)72-1166

E-mail: bousai@town.suo-oshima.lg.jp

なお、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始は休館日となっています。